



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 7 年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
工事名	幹線用水路他整備工事

項 目 名	数 量	単位	金 額	備 考
工事価格			14,200,000	
・工事原価			11,755,000	
純工事費			8,429,000	
・・・直接工事費			7,183,000	
・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式	7,122,000	
・・・直接工事費（仮設工）	1.000	式	61,000	
・・・間接工事費			4,572,000	
・・・共通仮設費			1,246,000	
・・・・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・・・・運搬費～営繕費等			1,246,000	
・・・・運搬費	1.000	式	0	
・・・・準備費	1.000	式	0	
・・・・安全費	1.000	式	0	
・・・・役務費	1.000	式	0	
・・・・技術管理費	1.000	式	0	
・・・・営繕費等	1.000	式	0	
・・・・現場環境改善費			0	
・・・・現場環境改善費（率計上）			0	
・・・・現場環境改善費（積上）	1.000	式	0	
・・・現場管理費			3,326,000	
・・・・現場管理費（率計上）			3,326,000	
・・・・現場管理費（積上）	1.000	式	0	
・・・・現場管理費（一般管理費率対象外）	1.000	式	0	
・・・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・・・官貸額（直工）	1.000	式	0	
・・・官貸額（事業損失防止）	1.000	式	0	
・・・官貸額（直工・事業損失防止除く）	1.000	式	0	
・一般管理費等 11,191,000×(21.830*1.000+0.04)			2,447,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費（直工・事業損失防止）			0	
支給品費（直工）			0	
処分費等（直接工事費の内数）			52,000	
処分費（準備費の内数）			0	
処分費（事業損失防止施設費内数）			0	
処分費等（率対象外）			0	
共通仮設費算定控除額			0	

九州農政局

事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
工事名	幹線用水路他整備工事

項目名	数量	単位	金額	備考	仮概全体	対象金額	率算定対象金額	工事箇所 1	工事箇所 2	工事箇所 3
工事価格			14,200,000		13,630,000			8,070,000	2,470,000	3,930,000
・工事原価			11,755,000		11,191,000			6,560,000	2,008,000	3,187,000
純工事費			8,429,000		8,227,000			4,776,000	1,415,000	2,238,000
・直接工事費			7,183,000		7,183,000			4,128,000	1,185,000	1,870,000
・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式	7,122,000		7,122,000			4,128,000	1,185,000	1,809,000
・・・直接工事費（仮設工）	1.000	式	61,000		61,000			0	0	61,000
・間接工事費			4,572,000		4,008,000			2,432,000	823,000	1,317,000
・・・共通仮設費			1,246,000		1,044,000			648,000	230,000	368,000
・・・事業損失防止施設費	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・運搬費～営繕費等			1,246,000		14.53 1,044,000	7,183,000	13.97 7,183,000	648,000	230,000	368,000
・・・運搬費	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・準備費	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・安全費	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・役務費	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・技術管理費	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・営繕費等	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・現場環境改善費			0		0			0	0	0
・・・現場環境改善費（率計上）			0		0	7,131,000	0 7,131,000	0	0	0
・・・現場環境改善費（積上）	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・現場管理費			3,326,000		2,964,000			1,784,000	593,000	949,000
・・・現場管理費（率計上）			3,326,000		36.03 2,964,000	8,227,000	34.31 8,227,000	1,784,000	593,000	949,000
・・・現場管理費（積上）	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・現場管理費（一般管理费率対象外）	1.000	式	0		0			0	0	0
・・・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0		0			0	0	0
・官貸額（直工）	1.000	式	0		0			0	0	0
・官貸額（事業損失防止）	1.000	式	0		0			0	0	0
・官貸額（直工・事業損失防止除く）	1.000	式	0		0			0	0	0
・一般管理費等	11,191,000×(21.830*1.000+0.04)	21.870	%	2,447,000	21.87 2,447,000	11,191,000	21.83 11,191,000	1,510,000	470,000	752,000
・一括計上価格	1.000	式	0		0			0	0	0
支給品費			0		0			0	0	0
支給品費（直工・事業損失防止）			0		0			0	0	0
支給品費（直工）			0		0			0	0	0
処分費等（直接工事費の内数）			52,000		52,000			0	52,000	0
処分費(準備費の内数)			0		0			0	0	0
処分費(事業損失防止施設費内数)			0		0			0	0	0
処分費等(率対象外)			0		0			0	17,000	0
共通仮設費算定控除額			0		0			0	0	0
有価物処分費			0		0			0	0	0



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事（その1工区）

積 算 書

（当初）

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業

工事名 幹線用水路他整備工事 (その 1 工区)

工事別工事名: 幹線用水路他整備工事 (その 1 工区)

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			8,070,000	
・工事原価			6,560,000	
純工事費			4,776,000	
・直接工事費			4,128,000	
・直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式	4,128,000	
・直接工事費 (仮設工)	1.000	式	0	
・間接工事費			2,432,000	
・共通仮設費			648,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費～営繕費等				
$4,128,000 \times ((15.090 \times 1.000) \times 1.000 \times 1.040 \times 1.000)$			648,000	
・運搬費	1.000	式	0	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			0	
・現場環境改善費 (率計上)				
$4,128,000 \times (0.000)$			0	
・現場環境改善費 (積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			1,784,000	
・現場管理費 (率計上)				
$4,776,000 \times ((35.580 \times 1.000) \times 1.000 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			1,784,000	
・現場管理費 (積上)	1.000	式	0	
・現場管理費 (一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額 (直工)	1.000	式	0	
・官貸額 (事業損失防止)	1.000	式	0	
・官貸額 (直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$6,560,000 \times (22.990 \times 1.000 + 0.04)$			1,510,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費 (直工・事業損失防止)			0	
支給品費 (直工)			0	
処分費等 (直接工事費の内数)			0	
処分費 (準備費の内数)			0	
処分費 (事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等 (率対象外)			0	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その1工区)						
工事別工事名:幹線水路他整備工事 (その1工区)						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** B単 - 1号 ***						
000001	ネットフェンス撤去工 (本体)		m		1,000 m	歩A 当たり算出
S02017	ネットフェンス撤去工 (本体) 1.5 (忍び返しあり) m, 7ヶ所ブロック, 廃棄, なし	1.000	m	1,673	1,673	S単 2号
	合 計				1,673	
	単 価				1,673	
*** B単 - 2号 ***						
000002	ネットフェンス撤去 (門扉)		組		1,000 組	歩A 当たり算出
S02018	ネットフェンス撤去工 (扉) ネット式片開, 廃棄	1.000	組	3,585	3,585	S単 3号
	合 計				3,585	
	単 価				3,585	
*** B単 - 3号 ***						
000003	型枠工 無筋構造物		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	1.000	m ²	9,427	9,427	S単 9号
	合 計				9,427	
	単 価				9,427	
*** B単 - 4号 ***						
000004	コンクリート打設工 18N-8-40, t=10cm		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, コンクリートポンプ車打設, 計上する, 10m ³ 以上100m ³ 未満, 養生無し, 延長無し, -, -, -, 18-8-40 (高炉B) W/C65%	1.000	m ³	26,890	26,890	S単 8号
	合 計				26,890	
	単 価				26,890	
*** B単 - 5号 ***						
000005	硬質ポリ塩化ビニル管布設 VU管, 75mm, L=250mm		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU, 75mm, 直管 (両差し口), 4.0m管, 0箇所	0.300	m	1,428	428	S単 4号
	合 計				428	
	単 価				428	
*** B単 - 6号 ***						
000006	吸出し防止材 t=10mm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0281	SP 吸出し防止材設置 全面	1.000	m ²	1,013	1,013	S単 7号
	合 計				1,013	
	単 価				1,013	
*** B単 - 7号 ***						
000007	法面掘削 土砂, 片切掘削		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂, 片切掘削, -, -, -, -, -, -	1.000	m ³	1,237	1,237	S単 5号
	合 計				1,237	
	単 価				1,237	

[illegible]

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線用水路他整備工事 (その1工区)						
工事別工事名: 幹線用水路他整備工事 (その1工区)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,盛土,まき出し,振動コバク()			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	砂・砂質土		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業区分	盛土		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	まき出し		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4)締固め区分	振動コバク()				
R01002	特殊作業員					
		0.200	人	27,234	5,447	
R01003	普通作業員					
		0.680	人	23,562	16,022	
Y00004	諸雑費 10%					
		0.100		5,447	545	
	合 計				22,014	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		2,201	
	*** S単 - 2号 ***					
S02017	ネットフェンス撤去工(本体)		m		20,000 m	歩A 当たり算出
	ネットフェンス撤去工(本体) 1.5(忍び返しあり)m,アンカーブロック,廃棄,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)柵高	1.5(忍び返しあり)m		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)基礎区分	アンカーブロック		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)撤去区分	廃棄		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
R01001	土木一般世話役					
		0.250	人	30,702	7,676	
R01003	普通作業員					
		0.800	人	23,562	18,850	
F08013	バ ックホ[クロー型・超低・排対型(～2014)] 標準バ ック容量 山積0.5m3(平積0.4m3)		日	10,800	1,944	
P34029	軽油					
	バ トリ給油	5.000	L	153	765	
R01021	運転手(特殊)					
		0.160	人	26,418	4,227	
	合 計				33,462	算出数量 20.000 m
	単 価		m		1,673	
	*** S単 - 3号 ***					
S02018	ネットフェンス撤去工(扉)		組		10,000 組	歩A 当たり算出
	ネットフェンス撤去工(扉) ネット式片開,廃棄			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)規格区分	ネット式片開		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)撤去区分	廃棄		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
R01001	土木一般世話役					
		0.500	人	30,702	15,351	
R01003	普通作業員					
		0.840	人	23,562	19,792	
Y00004	諸雑費					
		0.020		35,143	703	
	合 計				35,846	算出数量 10.000 組
	単 価		組		3,585	
	*** S単 - 4号 ***					
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設		m		10,000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,75mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)管種区分	VU		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)管径区分(mm)	75mm		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)形状区分	直管(両差し口)		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4)管長区分	4.0m管				
	5)接合箇所	0箇所				
P05037	硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管VU 径75 長4.0m					
		2.440	本	1,830	4,465	
Y00004	雑材料費					
		0.020		4,465	89	

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線用水路他整備工事（その１工区）						
工事別工事名: 幹線用水路他整備工事（その１工区）						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R01001	土木一般世話役					
		0.080	人	30,702	2,456	
R01002	特殊作業員					
		0.120	人	27,234	3,268	
R01003	普通作業員					
		0.170	人	23,562	4,006	
	合 計				14,284	算出数量 10.000 m
	単 価		m		1,428	
	*** S単 - 5号 ***					
SA0101	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	土砂,片切掘削,-,-,-,-,-			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	片切掘削				
	3)押土の有無	-				
	4)障害の有無	-				
	5)施工数量	-				
	6)火薬使用	-				
	7)破砕片除去の有無	-				
	8)集積押土の有無	-				
	単 価		m3		1,237	
	*** S単 - 6号 ***					
SA0152	SP 法面整形		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	切土部,-,-無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土、なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)整形箇所	切土部				
	2)法面締固めの有無	-				
	3)現場制約の有無	無し				
	4)土質	け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		957.6	
	*** S単 - 7号 ***					
SA0281	SP 吸出し防止材設置		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 吸出し防止材設置			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	全面			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)設置条件	全面				
	単 価		m ²		1,013	
	*** S単 - 8号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	,養生無し,延長無し,-,-,-,18-8-40(高炉B) W/C65%			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)構造物種別	無筋・鉄筋構造物				
	2)打設工法	コンクリートポンプ車打設				
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設量	10m3以上100m3未満				
	5)養生工の種類	養生無し				
	6)圧送管延長距離区分	延長無し				

[illegible]



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事（その2工区）

積 算 書

（当初）

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業

工事名 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)

工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			2,470,000	
・工事原価			2,008,000	
純工事費			1,415,000	
・直接工事費			1,185,000	
・直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式	1,185,000	
・直接工事費 (仮設工)	1.000	式	0	
・間接工事費			823,000	
・共通仮設費			230,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費～営繕費等				
$1,168,000 \times ((15.770 \times 1.200) \times 1.000 \times 1.040 \times 1.000)$			230,000	
・運搬費	1.000	式	0	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			0	
・現場環境改善費 (率計上)				
$1,133,000 \times (0.000)$			0	
・現場環境改善費 (積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			593,000	
・現場管理費 (率計上)				
$1,398,000 \times ((36.710 \times 1.100) \times 1.000 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			593,000	
・現場管理費 (積上)	1.000	式	0	
・現場管理費 (一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額 (直工)	1.000	式	0	
・官貸額 (事業損失防止)	1.000	式	0	
・官貸額 (直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$1,991,000 \times (23.570 \times 1.000 + 0.04)$			470,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費 (直工・事業損失防止)			0	
支給品費 (直工)			0	
処分費等 (直接工事費の内数)			52,000	
処分費 (準備費の内数)			0	
処分費 (事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等 (率対象外)			17,000	

[illegible]

[illegible]

事業名	筑後川中流国営施設機能保全事業
工事名	幹線水路他整備工事 (その2工区)

工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その2工区)

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)				1,185,000	
・胡麻手分水工撤去工	1.000	式		300,000	
・・床掘工	1.000	式		300,000	
000001 床掘	57.000	m ³	2,132	121,524	歩A・単A B単 1号
000002 埋戻し	81.000	m ³	2,201	178,281	歩A・単A B単 2号
合 計				299,805	
・撤去工	1.000	式		344,000	
・・舗装版・埋設物撤去工	1.000	式		313,000	
000003 一次舗装切断	66.000	m	695	45,870	歩A・単A B単 3号
000004 二次舗装切断	33.000	m	695	22,935	歩A・単A B単 4号
000005 As舗装取壊し	57.000	m ²	229	13,053	歩A・単A B単 5号
000006 As殻運搬・処分	2.900	m ³	4,519	13,105	歩A・単A B単 6号
000007 Co殻運搬・処分 無筋	3.000	m ³	14,101	42,303	歩A・単A B単 7号
000008 Co殻運搬・処分 有筋	7.500	m ³	23,384	175,380	歩A・単A B単 8号
合 計				312,646	
・・ネットフェンス撤去工 門扉撤去1箇所含む	1.000	式		31,000	
000009 ネットフェンス撤去工 (本体)	19.000	m	1,430	27,170	歩A・単A B単 9号
000010 ネットフェンス撤去工 (扉)	1.000	組	3,585	3,585	歩A・単A B単 10号
合 計				30,755	
・復旧工	1.000	式		541,000	
・・法面整形	1.000	式		43,000	
000011 法面整形 (道路端から水路側壁への摺付) 切土部, 砂質土	45.000	m ²	958	43,110	歩A・単A B単 11号
合 計				43,110	
・・As舗装工	1.000	式		185,000	
000012 基礎砕石 粒度調整砕石RM-25, t=10cm	56.000	m ²	969	54,264	歩A・単A B単 12号
000013 アスファルト舗装 再生密粒度As (13), t=5cm	72.000	m ²	1,821	131,112	歩A・単A B単 13号
合 計				185,376	
・・ネットフェンス復旧工	1.000	式		227,000	
000014 ネットフェンス工 H=1.2m, 2.0mピッチ	19.000	m	9,779	185,801	歩A・単A B単 14号
000015 床掘 (アンカーブロック部) 人力	1.000	m ³	9,897	9,897	歩A・単A B単 15号
000016 埋戻 (アンカーブロック部) 人力	1.000	m ³	3,252	3,252	歩A・単A B単 16号
000017 型枠工 (保護コンクリート部) B=300, t=5cm	2.000	m ²	9,427	18,854	歩A・単A B単 17号
000018 保護コンクリート B=300, t=5cm	0.300	m ³	29,660	8,898	歩A・単A B単 18号
合 計				226,702	
・・水路補修工	1.000	式		86,000	
000019 型枠	6.200	m ²	9,427	58,447	歩A・単A B単 19号
000020 コンクリート打設 水路側壁閉塞	0.800	m ³	29,660	23,728	歩A・単A B単 20号

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その2工区)						
工事別工事名:幹線水路他整備工事 (その2工区)						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000001	*** B単 - 1号 *** 床掘					
			m3	2,132		歩A・単A
000002	*** B単 - 2号 *** 埋戻し					
			m3	2,201		歩A・単A
000003	*** B単 - 3号 *** 一次舗装切断					
			m	695		歩A・単A
000004	*** B単 - 4号 *** 二次舗装切断					
			m	695		歩A・単A
000005	*** B単 - 5号 *** As舗装取壊し					
			m ²	229		歩A・単A
000006	*** B単 - 6号 *** As殻運搬・処分					
			m3	4,519		歩A・単A
000007	*** B単 - 7号 *** Co殻運搬・処分					
	無筋		m3	14,101		歩A・単A
000008	*** B単 - 8号 *** Co殻運搬・処分					
	有筋		m3	23,384		歩A・単A
000009	*** B単 - 9号 *** ネットフェンス撤去工 (本体)					
			m	1,430		歩A・単A
000010	*** B単 - 10号 *** ネットフェンス撤去工 (扉)					
			組	3,585		歩A・単A
000011	*** B単 - 11号 *** 法面整形 (道路端から水路側壁への摺付)					
	切土部, 砂質土		m ²	958		歩A・単A
000012	*** B単 - 12号 *** 基礎砕石					
	粒度調整砕石RM-25, t=10cm		m ²	969		歩A・単A
000013	*** B単 - 13号 *** アスファルト舗装					
	再生密粒度As (13), t=5cm		m ²	1,821		歩A・単A
000014	*** B単 - 14号 *** ネットフェンス工					
	H=1.2m, 2.0mピッチ		m	9,779		歩A・単A
000015	*** B単 - 15号 *** 床掘 (アンカーブロック部)					
	人力		m3	9,897		歩A・単A
000016	*** B単 - 16号 *** 埋戻 (アンカーブロック部)					
	人力		m3	3,252		歩A・単A
000017	*** B単 - 17号 *** 型枠工 (保護コンクリート部)					
	B=300, t=5cm		m ²	9,427		歩A・単A
000018	*** B単 - 18号 *** 保護コンクリート					
	B=300, t=5cm		m3	29,660		歩A・単A
000019	*** B単 - 19号 *** 型枠					
			m ²	9,427		歩A・単A
000020	*** B単 - 20号 *** コンクリート打設					
	水路側壁閉塞		m3	29,660		歩A・単A
000021	*** B単 - 21号 *** 管閉塞					
	φ350, モルタル充填		m3	40,216		歩A・単A

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業

工事名 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)

工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** B 単 - 1 号 ***					
000001	床掘		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂, 上記以外 (小規模), -, -, -	1.000	m3	2,132	2,132	S 単 12 号
	合 計				2,132	
	単 価				2,132	
	*** B 単 - 2 号 ***					
000002	埋戻し		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
S01041	人土工 (盛土・埋戻) 砂・砂質土, 埋戻, まき出し, 振動コンパクト ()	1.000	m3	2,201	2,201	S 単 1 号
	合 計				2,201	
	単 価				2,201	
	*** B 単 - 3 号 ***					
000003	一次舗装切断		m		1.000 m	歩 A 当たり算出
SA0223	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm 以下, -, -, -	1.000	m	694.6	695	S 単 19 号
	合 計				695	
	単 価				695	
	*** B 単 - 4 号 ***					
000004	二次舗装切断		m		1.000 m	歩 A 当たり算出
SA0223	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm 以下, -, -, -	1.000	m	694.6	695	S 単 19 号
	合 計				695	
	単 価				695	
	*** B 単 - 5 号 ***					
000005	As 舗装取壊し		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破碎 アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm 以下, -, 有り, なし	1.000	m ²	228.5	229	S 単 18 号
	合 計				229	
	単 価				229	
	*** B 単 - 6 号 ***					
000006	As 殻運搬・処分		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破碎, 機械積込 (舗装版厚 15cm 以下), 無し, 11.5km 以下,	1.000	m3	3,702	3,702	S 単 15 号
S02123	As 殻処分費	1.000	m3	817	817	S 単 6 号
	合 計				4,519	
	単 価				4,519	
	*** B 単 - 7 号 ***					
000007	Co 殻運搬・処分 無筋		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 コンクリート (無筋) 構造物とくわし, 機械積込, 無し, 3.3km 以下,	1.000	m3	1,131	1,131	S 単 16 号
S02123	Co 殻処分費 無筋	1.000	m3	4,427	4,427	S 単 7 号
S02721	【 構造物取壊し 】 無筋, なし, 機械, 昼間施工, しない	1.000	m3	8,543	8,543	S 単 9 号
	合 計				14,101	

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)						
工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				14,101	
	*** B 単 - 8号 ***					
000008	Co殻運搬・処分 有筋		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下,	1,000	m3	1,401	1,401	S 単 17号
S02123	Co殻処分 有筋	1,000	m3	4,893	4,893	S 単 8号
S02721	【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない	1,000	m3	17,090	17,090	S 単 10号
	合 計				23,384	
	単 価				23,384	
	*** B 単 - 9号 ***					
000009	ネットフェンス撤去工 (本体)		m		1,000 m	歩A 当たり算出
S02017	ネットフェンス撤去工 (本体) 1.2m,アッカーブロック,廃棄,なし	1,000	m	1,430	1,430	S 単 4号
	合 計				1,430	
	単 価				1,430	
	*** B 単 - 10号 ***					
000010	ネットフェンス撤去工 (扉)		組		1,000 組	歩A 当たり算出
S02018	ネットフェンス撤去工 (扉) ネット式片開,廃棄	1,000	組	3,585	3,585	S 単 5号
	合 計				3,585	
	単 価				3,585	
	*** B 単 - 11号 ***					
000011	法面整形 (道路端から水路側壁への摺付) 切土部,砂質土		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0152	SP 法面整形 切土部,-,無し,け質土,砂及び砂質土,粘性土,なし	1,000	m ²	957.6	958	S 単 14号
	合 計				958	
	単 価				958	
	*** B 単 - 12号 ***					
000012	基礎砕石 粒度調整砕石RM-25,t=10cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0834	SP 上層路盤 (車道・路肩部) 路盤材,粒度調整砕石 M-25,-,-,1層施工,なし,0mm,100mm	1,000	m ²	968.9	969	S 単 22号
	合 計				969	
	単 価				969	
	*** B 単 - 13号 ***					
000013	アスファルト舗装 再生密粒度As (13),t=5cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0843	SP 表層 (車道・路肩部) 3.0m超,50mm,アスファルト混合物 (2.35t/m3),プライムコート 各種,なし,再生密粒度As コ(13)	1,000	m ²	1,821	1,821	S 単 23号
	合 計				1,821	
	単 価				1,821	
	*** B 単 - 14号 ***					
000014	ネットフェンス工 H=1.2m,2.0mピッチ		m		1,000 m	歩A 当たり算出

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線用水路他整備工事（その2工区）						
工事別工事名: 幹線用水路他整備工事（その2工区）						
コード	名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02011	ネットフェンス工(本体) 7020,1.2m,有,2.0m	1.000	m	9,779	9,779	S単 3号
	合 計				9,779	
	単 価				9,779	
	*** B単 - 15号 ***					
000015	床掘（アンカーブロック部） 人力		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,現場制約あり,-,-,-	1.000	m3	9,897	9,897	S単 13号
	合 計				9,897	
	単 価				9,897	
	*** B単 - 16号 ***					
000016	埋戻（アンカーブロック部） 人力		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
S01041	人土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,人力タコ	1.000	m3	3,252	3,252	S単 2号
	合 計				3,252	
	単 価				3,252	
	*** B単 - 17号 ***					
000017	型枠工（保護コンクリート部） B=300,t=5cm		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	1.000	m ²	9,427	9,427	S単 21号
	合 計				9,427	
	単 価				9,427	
	*** B単 - 18号 ***					
000018	保護コンクリート B=300,t=5cm		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,養生無し,-,無し,-,,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.000	m3	29,660	29,660	S単 20号
	合 計				29,660	
	単 価				29,660	
	*** B単 - 19号 ***					
000019	型枠		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	1.000	m ²	9,427	9,427	S単 21号
	合 計				9,427	
	単 価				9,427	
	*** B単 - 20号 ***					
000020	コンクリート打設 水路側壁閉塞		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,養生無し,-,無し,-,,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.000	m3	29,660	29,660	S単 20号
	合 計				29,660	
	単 価				29,660	
	*** B単 - 21号 ***					

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その2工区)						
工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その2工区)						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S01041	*** S単 - 1号 ***					
	人土工(盛土・埋戻)					
	人土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コバク()		m3	2,201		歩A・単A
S01041	*** S単 - 2号 ***					
	人土工(盛土・埋戻)					
	人土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,人カタコ		m3	3,252		歩A・単A
S02011	*** S単 - 3号 ***					
	ネットフェンス(本体)					
	ネットフェンス(本体) 7020,1.2m,有,2.0m		m	9,779		歩A・単A
S02017	*** S単 - 4号 ***					
	ネットフェンス撤去工(本体)					
	ネットフェンス撤去工(本体) 1.2m,アンカーブロック,廃棄,なし		m	1,430		歩A・単A
S02018	*** S単 - 5号 ***					
	ネットフェンス撤去工(庫)					
	ネットフェンス撤去工(庫) ネット式片開,廃棄		組	3,585		歩A・単A
S02123	*** S単 - 6号 ***					
	As殻処分費					
	As殻処分費		m3	817		歩A・単A
S02123	*** S単 - 7号 ***					
	Co殻処分費					
	Co殻処分費 無筋		m3	4,427		歩A・単A
S02123	*** S単 - 8号 ***					
	Co殻処分					
	Co殻処分 有筋		m3	4,893		歩A・単A
S02721	*** S単 - 9号 ***					
	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】 無筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3	8,543		歩A・単A
S02721	*** S単 - 10号 ***					
	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3	17,090		歩A・単A
S03018	*** S単 - 11号 ***					
	モルタル現場練合わせ					
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3		m3	40,216		歩A・単A
SA0103	*** S単 - 12号 ***					
	SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -,		m3	2,132		歩A・単A
SA0103	*** S単 - 13号 ***					
	SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,現場制約あり, -, -,		m3	9,897		歩A・単A
SA0152	*** S単 - 14号 ***					
	SP 法面整形					
	SP 法面整形 切土部, -, 無し,け質土,砂及び砂質土,粘性土,なし		m ²	957.6		歩A・単A
SA0221	*** S単 - 15号 ***					
	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,		m3	3,702		歩A・単A
SA0221	*** S単 - 16号 ***					
	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下,		m3	1,131		歩A・単A
SA0221	*** S単 - 17号 ***					
	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下,		m3	1,401		歩A・単A
SA0222	*** S単 - 18号 ***					
	SP 舗装版破碎					
	SP 舗装版破碎 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下, -, 有り,なし		m ²	228.5		歩A・単A
SA0223	*** S単 - 19号 ***					
	SP 舗装版切断					
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下, -, -,		m	694.6		歩A・単A
SA0311	*** S単 - 20号 ***					
	SP コンクリート					
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する, -, 養生無し, -, 無し, -, -, 18-8-40(高炉B) W/C65%		m3	29,660		歩A・単A
SA0312	*** S単 - 21号 ***					
	SP 型枠					
	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物		m ²	9,427		歩A・単A

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線用水路他整備工事 (その2工区)						
工事別工事名:幹線用水路他整備工事 (その2工区)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コバク()			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	砂・砂質土		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業区分	埋戻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	まき出し		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4)締固め区分	振動コバク()				
R01002	特殊作業員					
		0.200	人	27,234	5,447	
R01003	普通作業員					
		0.680	人	23,562	16,022	
Y00004	諸雑費 10%					
		0.100		5,447	545	
	合 計				22,014	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		2,201	
	*** S単 - 2号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,人力タコ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	砂・砂質土		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業区分	埋戻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	まき出し		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4)締固め区分	人力タコ				
R01003	普通作業員					
		1.380	人	23,562	32,516	
	合 計				32,516	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		3,252	
	*** S単 - 3号 ***					
S02011	ネットフェンス工(本体)		m		20,000 m	歩A 当たり算出
	ネットフェンス工(本体) 7020,1.2m,有,2.0m			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)ネットフェンス1単位当たり単価(円/m)	7,020,000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)柵高	1.2m		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)ブロック基礎区分	有		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4)支柱間隔	2.0m				
P22331	ネットフェンス					
		20,000	m	7,020	140,400	
P22323	ネットフェンス用アンカーブロック 180×180×450					
		10,000	個	1,100	11,000	
R01001	土木一般世話役 設置					
		0.350	人	30,702	10,746	
R01003	普通作業員 設置					
		1.400	人	23,562	32,987	
Y00004	諸雑費					
		0.010		43,733	437	
	合 計				195,570	算出数量 20,000 m
	単 価		m		9,779	
	*** S単 - 4号 ***					
S02017	ネットフェンス撤去工(本体)		m		20,000 m	歩A 当たり算出
	ネットフェンス撤去工(本体) 1.2m,アンカーブロック,廃棄,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)柵高	1.2m		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)基礎区分	アンカーブロック		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)撤去区分	廃棄		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
R01001	土木一般世話役					
		0.230	人	30,702	7,061	
R01003	普通作業員					
		0.620	人	23,562	14,608	
F08013	バックホウ(加圧型・超低・排対型(～2014)) 標準バックホウ容量 山積0.5m3(平積0.4m3)					
		0.180	日	10,800	1,944	
P34029	軽油					
	バックホウ給油	5,000	L	153	765	
R01021	運転手(特殊)					
		0.160	人	26,418	4,227	

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)						
工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その 2 工区)						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				28,605	算出数量 20.000 m
	単 価		m		1,430	
	*** S 単 - 5号 ***					
S02018	ネットフェンス撤去工 (庫)		組		10.000 組	歩 A 当たり算出
	ネットフェンス撤去工 (庫)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	ネット式片開 廃棄			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 規格区分 2) 撤去区分	ネット式片開 廃棄		深夜時間: 0.0	週休: 月単位	
R01001	土木一般世話役					
		0.500	人	30,702	15,351	
R01003	普通作業員					
		0.840	人	23,562	19,792	
Y00004	諸雑費					
		0.020		35,143	703	
	合 計				35,846	算出数量 10.000 組
	単 価		組		3,585	
	*** S 単 - 6号 ***					
S02123	As 殻処分費		m3		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	As 殻処分費			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格	P96001		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 単価の入力	817円		深夜時間: 0.0	週休: 月単位	
P96001	As 殻処分費		m3	817	817	
	合 計				817	算出数量 1.000 各単位
	単 価				817	
	*** S 単 - 7号 ***					
S02123	Co 殻処分費		m3		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	Co 殻処分費 無筋			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格	P96002 無筋		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 単価の入力	4,427円		深夜時間: 0.0	週休: 月単位	
P96002	Co 殻処分費 無筋		m3	4,427	4,427	
	合 計				4,427	算出数量 1.000 各単位
	単 価				4,427	
	*** S 単 - 8号 ***					
S02123	Co 殻処分		m3		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	Co 殻処分 有筋			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格	P96003 有筋		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 単価の入力	4,893円		深夜時間: 0.0	週休: 月単位	
P96003	Co 殻処分 有筋		m3	4,893	4,893	
	合 計				4,893	算出数量 1.000 各単位
	単 価				4,893	
	*** S 単 - 9号 ***					
S02721	【 構造物取壊し 】		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その2工区)						
工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その2工区)						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	【構造物取壊し】 無筋,なし,機械,昼間施工,しない			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)時間的制約	無筋 なし		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)施工区分 4)施工区分	機械 昼間施工		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	5)低騒音・低振動対策	しない				
A73501	構造物とりこわし工無筋構造物 制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3	8,543	8,543	
	合 計				8,543	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		8,543	
	*** S単 - 10号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)時間的制約	有筋 なし		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)施工区分 4)施工区分	機械 昼間施工		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	5)低騒音・低振動対策	しない				
A73511	構造物とりこわし工鉄筋構造物 制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3	17,090	17,090	
	合 計				17,090	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		17,090	
	*** S単 - 11号 ***					
S03018	モルタル現場練合わせ		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)材料区分 2)配合比区分	洗砂(細目) 1:3		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
P32012	普通ポルトランドセメント 25kg詰袋	0.540	ton	21,600	11,664	
J03007	洗砂	0.910	m3	4,000	3,640	
R01003	普通作業員	0.970	人	23,562	22,855	
Y00004	諸雑費 9%	0.090		22,855	2,057	
	合 計				40,216	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		40,216	
	*** S単 - 12号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	単 価		m3		2,132	
	*** S単 - 13号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,現場制約あり, -, -,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その2工区)						
工事別工事名:幹線水路他整備工事 (その2工区)						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	現場制約あり				
	3)土留方式の種類	-				
	4)障害の有無	-				
	単 価		m3		9,897	
	*** S単 - 14号 ***					
SA0152	SP 法面整形		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	切土部, -,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土、なし			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)整形箇所	切土部				
	2)法面締固めの有無	-				
	3)現場制約の有無	無し				
	4)土質	け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		957.6	
	*** S単 - 15号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)殻発生作業	舗装版破砕				
	2)積込工法区分	機械積込(舗装版厚15cm以下)				
	3)D1D区間の有無	無し				
	4)運搬距離	11.5km以下				
	単 価		m3		3,702	
	*** S単 - 16号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	コンクリ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下,			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)殻発生作業	コンクリ(無筋)構造物とりこわし				
	2)積込工法区分	機械積込				
	3)D1D区間の有無	無し				
	4)運搬距離	3.3km以下				
	単 価		m3		1,131	
	*** S単 - 17号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	コンクリ(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下,			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)殻発生作業	コンクリ(鉄筋)構造物とりこわし				
	2)積込工法区分	機械積込				
	3)D1D区間の有無	無し				
	4)運搬距離	3.3km以下				
	単 価		m3		1,401	
	*** S単 - 18号 ***					

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線用水路他整備工事（その2工区）						
工事別工事名:幹線用水路他整備工事（その2工区）						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
SA0222	SP 舗装版破砕		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破砕			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)舗装版種別	アスファルト舗装版				
	2)障害等の有無	無し				
	3)騒音振動対策	不要				
	4)舗装版厚	15cm以下				
	5)Co+As(加-)舗装によるAs舗装	-				
	6)積込作業の有無	有り				
	7)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		228.5	
	*** S単 - 19号 ***					
SA0223	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	アスファルト舗装版,15cm以下,-,-			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)舗装版種別	アスファルト舗装版				
	2)アスファルト舗装版厚	15cm以下				
	3)コンクリート舗装版厚	-				
	4)コンクリート+アスファルト(加-)舗装版	-				
	単 価		m		694.6	
	*** S単 - 20号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出
	SP コンクリート			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,養生無し,-,無し,-,,18-8-			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	40(高炉B) W/C65%			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)構造物種別	無筋・鉄筋構造物				
	2)打設工法	人力打設				
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設量	-				
	5)養生工の種類	養生無し				
	6)圧送管延長距離区分	-				
	7)現場内小運搬の有無	無し				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単 価		m ³		29,660	
	*** S単 - 21号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般型枠,鉄筋・無筋構造物			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	鉄筋・無筋構造物				
	単 価		m ²		9,427	
	*** S単 - 22号 ***					
SA0834	SP 上層路盤（車道・路肩部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤（車道・路肩部）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	路盤材,粒度調整砕石 M-25,-,-,,1層施工,なし,0mm,100mm			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

[illegible]

[illegible]



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事（その3工区）

積 算 書

（当初）

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業

工事名 幹線用水路他整備工事 (その3 工区)

工事別工事名: 幹線用水路他整備工事 (その3 工区)

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			3,930,000	
・工事原価			3,187,000	
純工事費			2,238,000	
・直接工事費			1,870,000	
・直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式	1,809,000	
・直接工事費 (仮設工)	1.000	式	61,000	
・間接工事費			1,317,000	
・共通仮設費			368,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費～営繕費等				
$1,870,000 \times ((15.770 \times 1.200) \times 1.000 \times 1.040 \times 1.000)$			368,000	
・運搬費	1.000	式	0	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			0	
・現場環境改善費 (率計上)				
$1,870,000 \times (0.000)$			0	
・現場環境改善費 (積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			949,000	
・現場管理費 (率計上)				
$2,238,000 \times ((36.710 \times 1.100) \times 1.000 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			949,000	
・現場管理費 (積上)	1.000	式	0	
・現場管理費 (一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額 (直工)	1.000	式	0	
・官貸額 (事業損失防止)	1.000	式	0	
・官貸額 (直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$3,187,000 \times (23.570 \times 1.000 + 0.04)$			752,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費 (直工・事業損失防止)			0	
支給品費 (直工)			0	
処分費等 (直接工事費の内数)			0	
処分費 (準備費の内数)			0	
処分費 (事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等 (率対象外)			0	

[illegible]

工事別工事名:幹線用水路他整備工事(その3工区)

工事別工事名:幹線用水路他整備工事(その3工区)

九州農政局

工事別工事名: 幹線用水路他整備工事 (その3工区)

工事別工事名: 幹線用水路他整備工事 (その 3 工区)

[illegible]

工事別工事名:幹線用水路他整備工事(その3工区)

九州農政局

[illegible]

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その3工区)						
工事別工事名:幹線水路他整備工事 (その3工区)						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** B単 - 1号 ***						
000001	掘削工		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-,-,標準,-,-,-	1.000	m3	1,189	1,189	S単 5号
	合 計				1,189	
	単 価				1,189	
*** B単 - 2号 ***						
000002	ダンプトラック運搬 長野仮置場～胡麻手分水工		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
S01032	ダンプトラック運搬(特殊) 土砂,2.0,6.5km以下,山0.45(平0.35)m3,有り,良好	1.000	m3	4,187	4,187	S単 1号
	合 計				4,187	
	単 価				4,187	
*** B単 - 3号 ***						
000003	ダンプトラック運搬 長野仮置場～橋田仮置場		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
S01032	ダンプトラック運搬(特殊) 土砂,2.0,5.5km以下,山0.45(平0.35)m3,無し,良好	1.000	m3	3,516	3,516	S単 2号
	合 計				3,516	
	単 価				3,516	
*** B単 - 4号 ***						
000004	基礎砕石 再生クラッシャランRC-40,t=15cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm	1.000	m ²	1,595	1,595	S単 6号
	合 計				1,595	
	単 価				1,595	
*** B単 - 5号 ***						
000005	型枠 一般型枠,無筋構造物,t=10cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	1.000	m ²	9,427	9,427	S単 8号
	合 計				9,427	
	単 価				9,427	
*** B単 - 6号 ***						
000006	コンクリート 18-8-40(高炉)		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生, 延長無し,-,-,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.000	m3	27,810	27,810	S単 7号
S02046	機械小運搬(土砂類、生コン) 生コンクリート,200m未満	1.000	m3	2,419	2,419	S単 3号
	合 計				30,229	
	単 価				30,229	
*** B単 - 7号 ***						
000007	目地版 t=10cm,ゴム発泡体		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地版 30m2未満,計上する,目地版(ゴム発泡体) t=10mm	1.000	m ²	3,955	3,955	S単 9号
	合 計				3,955	
	単 価				3,955	

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
-----	-----------	-----	----	-----	-----	-----

[illegible]

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線水路他整備工事 (その 3 工区)						
工事別工事名: 幹線水路他整備工事 (その 3 工区)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S01032	ダンプトラック運搬(特殊)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	ダンプトラック運搬(特殊) 土砂,2.0,6.5km以下,山0.45(平0.35)m3,有り,良好			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	土砂		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)運搬機械区分(t積級)	2.0		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	3)運搬距離	6.5km以下				
	4)積込機械区分	山0.45(平0.35)m3				
	5)DID区間	有り				
	6)路面条件	良好				
MO3001	ダンプトラック[オンロード・ディゼール] 2t積級	1.460	供用日	5,520	8,059	
W14061	タイヤ消費費 (DT国産・普通・D) 積載重量 2.0 t 積	1.460	供用日	182	266	
P34029	軽油 バレル給油	25.000	L	153	3,825	
R01022	運転手 (一般)	1.240	人	23,970	29,723	
	合 計				41,873	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		4,187	
	*** S 単 - 2号 ***					
S01032	ダンプトラック運搬(特殊)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	ダンプトラック運搬(特殊) 土砂,2.0,5.5km以下,山0.45(平0.35)m3,無し,良好			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	土砂		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)運搬機械区分(t積級)	2.0		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	3)運搬距離	5.5km以下				
	4)積込機械区分	山0.45(平0.35)m3				
	5)DID区間	無し				
	6)路面条件	良好				
MO3001	ダンプトラック[オンロード・ディゼール] 2t積級	1.230	供用日	5,520	6,790	
W14061	タイヤ消費費 (DT国産・普通・D) 積載重量 2.0 t 積	1.230	供用日	182	224	
P34029	軽油 バレル給油	21.000	L	153	3,213	
R01022	運転手 (一般)	1.040	人	23,970	24,929	
	合 計				35,156	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		3,516	
	*** S 単 - 3号 ***					
S02046	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 生コンクリート,200m未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)材料	生コンクリート		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)運搬距離区分	200m未満		深夜時間:0.0	週休:月単位	
R01003	普通作業員	0.190	人	23,562	4,477	
M27973	不整地運搬車[加圧型・油圧ダンプ式・排対型(1次)] 加圧型油圧ダンプ 4.0～5.0ton	1.570	供用日	11,800	18,526	
P34029	軽油 バレル給油	77.000	L	153	11,781	
R01021	運転手 (特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人	26,418	26,418	
	合 計				61,202	算出数量 25.300 m3
	単 価		m3		2,419	
	*** S 単 - 4号 ***					
S02115	交通誘導警備員 B		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	交通誘導警備員 B			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード	R01032		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)労務単価算定区分	基(D2)		深夜時間:0.0	週休:月単位	

事業名 筑後川中流国営施設機能保全事業						
工事名 幹線用水路他整備工事（その3工区）						
工事別工事名:幹線用水路他整備工事（その3工区）						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R01032	交通誘導警備員 B	1.000	人	15,198	15,198	
	合 計				15,198	算出数量 1.000 人
	単 価				15,198	
	*** S単 - 5号 ***					
SA0101	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -,標準, -, -, -			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	上記以外(小規模)				
	3)押土の有無	-				
	4)障害の有無	-				
	5)施工数量	標準				
	6)火薬使用	-				
	7)破砕片除去の有無	-				
	8)集積押土の有無	-				
	単 価		m3		1,189	
	*** S単 - 6号 ***					
SA0301	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40~0mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)砕石の厚さ	12.5cmを超え17.5cm以下				
	2)砕石の計上	計上する				
	3)長期割引単価区分	なし				
	4)規格区分	再生クラッシャラン RC-40 40~0mm				
	単 価		m ²		1,595	
	*** S単 - 7号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生,延長無し, -, -, -,18-8-40(高炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)構造物種別	無筋・鉄筋構造物				
	2)打設工法	コンクリートポンプ車打設				
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設量	10m3以上100m3未満				
	5)養生工の種類	一般養生				
	6)圧送管延長距離区分	延長無し				
	7)現場内小運搬の有無	-				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		27,810	
	*** S単 - 8号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	鉄筋・無筋構造物				
	単 価		m ²		9,427	

[illegible]

[illegible]

令和 7 年度筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路他整備工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、筑後川中流土地改良事業計画に基づき幹線用水路付帯設備等の整備及び撤去を行うものである。

2. 工事場所

福岡県うきは市吉井町地内

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

（その1工区）

橘田仮置場整備

土工 1式

コンクリート擁壁 $L=91.5\text{m}$

（その2工区）

胡摩手溝分水土工付帯施設撤去

土工 1式

付帯施設撤去 1式

アスファルト舗装 $A=72.4\text{m}^2$

（その3工区）

長野仮置場整備

土工 1式

コンクリート舗装 $A=282.0\text{m}^2$

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 工程制限

胡摩手溝分水土工付帯施設撤去は、令和7年10月3日から着手可能である。

橘田仮置場整備は、令和7年9月から着手可能である。

2. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等62日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇を含んでいる。

3. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、年末年始休暇（12月29日～1月3日）。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施に取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 希少な動植物に対する対応

- (1) 工事の開始に当たっては、周囲を見回り、希少動植物の生息確認を行う。
- (2) 施工範囲において希少動植物が確認された場合は、速やかに監督職員に連絡し、指示を仰ぐものとする。
- (3) 施工範囲外には、むやみに立ち入らず、動植物の採取を行わないこと。

第4章 現場条件

1. 土質

本工事の施工場所の土質は、砂質土を想定している。

2. 関連工事

本工事に関連する工事として次に示す工事を予定しているので、監督職員及び関連する工事の責任者と十分連絡、協議し工事に支障が生じないように調整しなければならない。

大石雲雀幹線用水路他ゲート補修工事（仮称）（施工予定時期 令和7年10月～令和8年1月）

大石雲雀幹線用水路他水位調整ゲート補修工事（仮称）（施工予定時期 令和7年10月～令和8年1月）

3. 第三者に対する措置

(1) 騒音、振動対策

騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

なお、第三者との協議において対策を講じる必要がある場合には、本工事に騒音、振動調査を変更追加することがある。

(2) 保安対策

- 1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任者講習修了、指定講習または、基本教育及び業務別教育を受けた者）であって、交通誘導の専門的な知識・技能を有する者とする。
- 2) 交通誘導警備員の配置は、下表のとおりとするが、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

配置場所	編成	昼夜別	交代要員の有無
その3工区生コン車配置地点	2名／日	昼	無

(3) 交通対策

工事施工中は、片側交互通行または通行止めによるものとし、交通誘導警備員及び信号機等により交通誘導を行い、一般車両等の通行の確保及び安全に十分な対策を講じ、適正な施工に努めなければならない。

(4) 防塵対策

防塵対策については十分配慮するとともに、地域住民との調和を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

なお、現地状況等により対策が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

(5) 営農対策

工事施工に当たっては、周辺の農地では耕作が行われているので、営農に支障がないように努めなければならない。

(6) 架空線等対策

工事施工に当たって、架空線等上空施設の下を通過する箇所では、架空線等に支障を及ぼさない

よう十分に注意しなければならない。

(7) その他

既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

4. 関係機関との調整

受注者は、本工事について関係機関と必要な調整を行わなければならない。

- (1) 進入ルート等の道路使用許可申請
- (2) 近隣の学校及び地域住民への道路使用等の事前周知
- (3) その他必要な協議事項又は届出等

第5章 指定仮設

1. 工事用道路等

現場近傍道路を現場搬入道路として利用することとしている。

なお、一般の通行に支障をきたさないよう受注者の責任において維持管理を行わなければならない。

また、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

2. 建設発生土受入地

発生土（搬入）

本工事では、他工区からの発生土として次の土量の搬入を予定している。

搬入元工区	搬入期間	搬入量	摘要
その3工区（長野仮置場）	令和7年7月～	61m ³	その1工区（橘田仮置場）
その3工区（長野仮置場）	令和7年10月～	24m ³	その2工区（胡摩手溝分土工）

第6章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

1) 目地材

目地板 エラスティックフィラー t=10mm

2) 樹脂類

水抜きパイプ 硬質ポリ塩化ビニル管 VU75 管

3) 石材

再生クラッシュラン RC-40

再生粒度調整碎石 RM-25

4) 再生加熱アスファルト混合物

再生密粒アスコン (13) 2.35ton/m³

5) コンクリート

コンクリートは、レディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種 類	呼び強度 (N/mm ²)	スラ ンプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	水セメント 比 W/C(%)	セメントの 種類による 記号	使用 目的
無筋コンクリート (一般構造物)	18	8	40	65	BB	舗装 擁壁

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
再生密粒アスコン	試験成績書
コンクリート	試験成績書
目地板	カタログ
吸出し防止材	カタログ
水抜パイプ	カタログ
砕石	試験成績書
その他材料	カタログ又は試験成績書等

3. 監督職員の検査又は試験

次に示す工事材料は、監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材料名	検査・試験項目	備考
コンクリート	スランプ試験	搬入時確認

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 施工

1. 一般事項

(1) 検測又は確認（施工段階確認）

- 1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。
- 2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。
- 3) 下表の（重点監督）は、低入札価格調査制度における調査対象工事とする。

工 種	確認内容	確認時期・頻度 (一般監督)	確認時期・頻度 (重点監督)	備考
コンクリート工	厚さ	初期施工段階で各工区 1 箇所	各スパン箇所	
アスファルト舗装工	厚さ	初期施工段階で 1 箇所	監督職員指示箇所	
砕石工	厚さ	初期施工段階で各工区 1 箇所	監督職員指示箇所	
水抜きパイプ設置	設置状況確認	初期施工段階で 1 箇所	各設置箇所	

2. 建設資材廃棄物等の搬出

(1) 建設資材廃棄物等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材廃棄物	処理施設名	住 所	受入時間	事業区分
コンクリート塊	(株)浮羽商会	久留米市田主丸町長栖 761-3	8 時～ 17 時	再資源化施設
アスファルト塊	(株)古賀組	朝倉市大庭 801	8 時～ 17 時	再資源化施設

3. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

■が該当する部分である。

4. 擁壁工

コンクリート擁壁工

水抜穴は、硬質ポリ塩化ビニル管（VU φ75mm）を2mに1箇所割合で設置しなければならない。

5. 土工

(1) 掘削

- 掘削土は、埋戻しに流用するもののほかは、全て指定する建設発生土受入地に搬出するものとする。また、流用土は砂質土とする。
- 掘削に当たっては、法面の崩壊に十分注意して施工しなければならない。

(2) 埋戻し

1) 置換処理

橘田仮置場及び胡摩手溝分土工付帯施設撤去区間の埋戻し土は、長野仮置場区間で掘削した砂質土で置換えをする。

2) 締固め方法

橘田仮置場及び胡摩手溝分土工付帯施設撤去区間の埋戻しは一層の仕上がり厚さが30cm程度になるようにまき出しし、振動コンパクタにより、3回以上締固めなければならない。

6. 舗装工

(1) 路盤工

- 路盤は、工事材料として承諾を得た粒度及び締固めに適した含水比が得られるように、配合したものを使用しなければならない。

(2) 舗装工

1) アスファルト舗装工

表層工は、施工条件に合った敷均し機械により、再生加熱アスファルト混合物を敷均し、施工条件に合った機種で締固めをしなければならない。

2) コンクリート舗装工

- ①コンクリート舗装は、路盤紙を敷設し、バイブレータ等で十分締固めた後養生しなければならない。

なお、舗装表面はほうき目仕上げとする。

- ②コンクリート舗装に当たっては、延長5mに1箇所の割合で目地を設けるものとする。

第10章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者または監理技術者の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 情報共有システム

- (1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象工事である。
- (2) 情報共有システムの活用については、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」(URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/attach/pdf/index-3.pdf>」)によるものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。

黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「施設機械工事等施工管理基準 第1編 共通編 第2章撮影記録による施工管理」及び「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す写真編集には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第11章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

(1) 土質

- (2) 転石の出現
- (3) 搬入土の補充量
- (3) 関係機関との協議
- (4) その他

第12章 公共事業関係調査に対する協力

受注者は、本工事が公共事業関係調査の対象となった場合、協力しなければならない。

第13章 その他

1. 電子納品

- (1) 工事完成図書を、共通仕様書第1編1-1-37に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。
 - ・ 工事完成図書の電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副2部
 - ・ 工事完成図書の出力1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 主任技術者等の専任期間

- (1) 請負契約の締結後から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
- (2) 契約締結の日から工事着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
- (3) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

3. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者などの確保が図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、別記様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている200日間（令和7年7月7日～令和8年1月22日）よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに別記様式1と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和8年1月22日（工事完了期限日）まで

4. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則

とし、午後に協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

5. 契約後V E 提案

(1) 定義

「V E 提案」とは、工事請負契約書第 19 条の 2 の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) V E 提案の意義及び範囲

- 1) V E 提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は、V E 提案の範囲に含めないものとする。
 - ① 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - ② 工事請負契約書第 18 条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ③ 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) V E 提案書の提出

- 1) 受注者は、(2)のV E 提案を行う場合、次に掲げる事項を V E 提案書（共通仕様書 様式 6-1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ① 設計図書に定める内容と V E 提案の内容の対比及び提案理由
 - ② V E 提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ③ V E 提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - ④ 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - ⑤ 工業所有権を含むV E 提案である場合、その取り扱いに関する事項
 - ⑥ その他V E 提案が採用された場合に留意すべき事項
- 2) 発注者は、提出されたV E 提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は、V E 提案を契約締結の日より、当該 V E 提案に係る部分の施工に着手する日の 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) V E 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) V E 提案の適否等

- 1) 発注者は、V E 提案の採否について、原則として、V E 提案を受領した日の翌日から 14 日以内に書面（共通仕様書 様式 6-5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。
- 2) また、V E 提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- 3) V E 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- 4) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2（設計図書の変更に係るこの提案）の規定に基づくものとする。
- 5) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 24 条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、V E 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する額（以下、「V E 管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者が V E 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第 24 条（請負代金額の変更方法等）第 1 項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記 6) の V E 管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事

の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) VE 提案書の使用

発注者は、VE 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者が VE 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

6. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。

なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時および新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(3) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について、高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員と協議し定めるものとする。

(4) 対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに各地方農政局地方参事官（議長）・関係課職員、事業所長、次長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。

なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

(5) 建設コンサルタントの出席

上記 6. (1)、(2)、(3) 及び(4) の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に関らず変更契約の対象としない。

(6) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

7. 週休 2 日による施工

(1) 本工事は、月単位の週休 2 日に取り組むことを前提として、労務費、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。受注者は、契約後、週単位又は月単位の週休 2 日の取組について工事着手前に選択し、選択結果について発注者と協議した上、週休 2 日による施工を行う

なければならない。なお、受注者の責によらない現場条件・気象条件等により週休2日の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

- (2) 週単位の週休2日とは、対象期間のすべての週において、1週間に2日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。なお、受注者自ら2日以上現場閉所を行うことは可能とする。月単位の週休2日とは、対象期間において、すべての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

- ① 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間^{※注}のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

（注）余裕期間については、余裕期間設定工事の場合に記載する。

- ② 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。
- ③ 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

- (3) 週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。

- ① 受注者は、契約後、週単位又は月単位の週休2日の取組について工事着手前に選択し、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。
- ② 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。
- ③ 監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。
- ④ 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。
- ⑤ 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。

- (4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

- (5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正する。

① 補正係数

	週単位の週休2日 (現場閉所1週間に2日以上)	月単位の週休2日 (現場閉所率28.5%(8日/28日)以上)
労務費	1.02	1.02
共通仮設費（率分）	1.05	1.04
現場管理費（率分）	1.06	1.05

② 補正方法

当初積算において月単位の週休2日の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は、工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、達成状況に応じて、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき精算変更を行う。週単位の週休2日を達成した場合は、上記①に示す週単位の補正係数による補正を行い増額変更し、月単位の週休2日を達成できない場合は、補正を行わずに減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数10点を減ずるものとする。

8. 週休2日制の促進

- (1) 本工事は、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」）の発行を行う工事である。

9. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 洋式（洋風）便器
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鍵と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法900×900mm以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

(2) 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（1）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】

ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所）までとする。また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基/工事（施工箇所）より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

- (3) 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議のうえ、本項の対象外とする。

10. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。

- (2) 用語の具体的な内容は次のとおりである。

ア 真夏日

日最高気温が30℃以上の日をいう。

イ 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。なお、年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

ウ 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$

(3) 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。

(4) 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。

なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上となる日を真夏日と見なす。

ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所以外の気象観測所で気象業務法(昭和27年法律第165号)に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。

(5) 受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。

(6) 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算出した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

$$\text{補正値(\%)} = \text{真夏日率} \times \text{補正係数※}$$

※ 補正係数：1.2

1 1. 現場環境改善費

(1) 現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

(3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善の実施状況が分かる写真を監督職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容(率計上分)
仮設備関係	1) 用水・電力等の供給設備 2) 緑化・花壇 3) ライトアップ施設 4) 見学路及び椅子の設置 5) 昇降設備の充実 6) 環境負荷の低減
営繕関係	1) 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2) 労働宿舍の快適化 3) デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4) 現場休憩所の快適化 5) 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1) 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2) 盗難防止対策(警報器等) 3) 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1) 地域対策費(農家との調整、地域行事等の経緯を含む) 2) 完成予想図 3) 工法説明図

	4) 工事工程表 5) デザイン工事看板（各工事 PR 看板含む） 6) 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 7) 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 8) パンフレット・工法説明ビデオ 9) 社会貢献
--	--

1 2. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

1 3. 労働者確保に関する間接費の設計変更について

（1）本工事は、「共通仮費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土地改良事業等請負工事積算基準（以下「積算基準」という。）の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。

・営 繕 費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

・労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

（2）受注者から請負代金内訳書の提出があった後、発注者は共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象費の割合を提示するものとする。

（3）受注者は、当初契約締結後、前項で示された割合を参考にして実績変更対象費に係る費用の内訳を記載した実施計画書（様式 1）を作成し、監督職員に提出するものとする。

（4）最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合は、変更実施計画書（様式 2）及び実績変更対象費に実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

（5）受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

（6）実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、共通仮設費率分は、積算基準に基づく算出額から実施計画書（様式 1）に記載された共通仮設費率分の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。また、現場管理費は、積算基準に基づく算出額から実施計画書（様式 1）に記載された現場管理費の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

（7）受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。

（8）疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

1 4. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

1 5. 施工箇所が点在する工事の適用

（1）本工事は、施工箇所が点在する工事であり、「その 1 工区、その 2 工区、その 3 工区（以下、工事箇所という）」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法」による工事である。

（2）本工事における共通仮設費の金額は、工事箇所ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、工事箇所ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。

なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正（施工地域による補正等）については、工事箇所

ごとに設定する。一般管理費等については、工事箇所ごとではなく、通常の積算方法により算出する。

第14章 定めなき事項

1. 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は、本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

分任支出負担行為担当官
〇〇 〇〇 様

住所
商号又は名称
氏名
印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工事名	〇〇〇〇工事
工事場所	〇〇県〇〇市〇〇
契約予定年月日	令和 年 月 日
工事の始期	令和 年 月 日
工期	工事の始期から (〇〇〇日間) 令和 年 月 日

- ※契約の締結までに提出すること。
- ※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

令和 7 年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事

工 事 数 量 表
【当初】

令和7年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事（その1工区）

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 撤去工				
(1) ネットフェンス撤去				
ネットフェンス撤去工（本体）		m	30.000	
ネットフェンス撤去（門扉）		組	1.000	
2. 法面整形工				
(1) 張コンクリート工				
型枠工	無筋構造物	m ²	268.000	
コンクリート打設工	18N-8-40, t=10cm	m ³	27.000	
硬質ポリ塩化ビニル管布設	VU管, 75mm, L=250mm	箇所	46.000	
吸出し防止材	t=10mm	m ²	2.000	
(2) 土面整形工				
法面掘削	土砂, 片切掘削	m ³	300.000	
盛土工	砂質土	m ³	78.000	
法面整形		m ²	268.000	
3. その他				

令和7年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事（その2工区）

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 胡麻手分水工撤去工				
(1) 床掘工				
床掘		m3	57.000	
埋戻し		m3	81.000	
2. 撤去工				
(1) 舗装版・埋設物撤去工				
一次舗装切断		m	66.000	
二次舗装切断		m	33.000	
As舗装取壊し		m ²	57.000	
As殻運搬・処分		m3	2.900	
Co殻運搬・処分	無筋	m3	3.000	
Co殻運搬・処分	有筋	m3	7.500	
(2) ネットフェンス撤去工	門扉撤去 1箇所含む			
ネットフェンス撤去工 (本体)		m	19.000	
ネットフェンス撤去工 (扉)		組	1.000	
3. 復旧工				
(1) 法面整形				
法面整形 (道路端から水路側壁への摺付)	切土部, 砂質土	m ²	45.000	
(2) As舗装工				
基礎碎石	粒度調整碎石RM-25, t=10cm	m ²	56.000	
アスファルト舗装	再生密粒度As (13), t=5cm	m ²	72.000	
(3) ネットフェンス復旧工				
ネットフェンス工	H=1.2m, 2.0mピッチ	m	19.000	
床掘 (アンカーブロック部)	人力	m3	1.000	
埋戻 (アンカーブロック部)	人力	m3	1.000	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
型枠工（保護コンクリート部）	B=300, t=5cm	m ²	2. 000	
保護コンクリート	B=300, t=5cm	m ³	0. 300	
（４）水路補修工				
型枠		m ²	6. 200	
コンクリート打設	水路側壁閉塞	m ³	0. 800	
管閉塞	φ 350, モルタル充填	m ³	0. 100	
４．その他				

令和7年度

筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事（その3工区）

工 事 数 量 表
【当初】

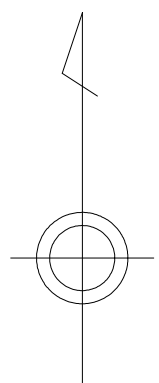
工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 土工	長野仮置場整備			
(1)掘削工				
掘削工		m3	85.000	
(2)運搬工				
ダンプトラック運搬	長野仮置場～胡麻手分水工	m3	24.000	
ダンプトラック運搬	長野仮置場～橘田仮置場	m3	61.000	
2. 舗装工				
(1)仮置場舗装工				
基礎砕石	再生クラッシュランRC-40, t=15cm	m ²	282.000	
型枠	一般型枠, 無筋構造物, t=10cm	m ²	8.200	
コンクリート	18-8-40(高炉)	m3	28.000	
目地版	t=10cm, ゴム発泡体	m ²	5.000	
3. 仮設工				
(1)安全費				
交通誘導警備員		人	4.000	
4. その他				

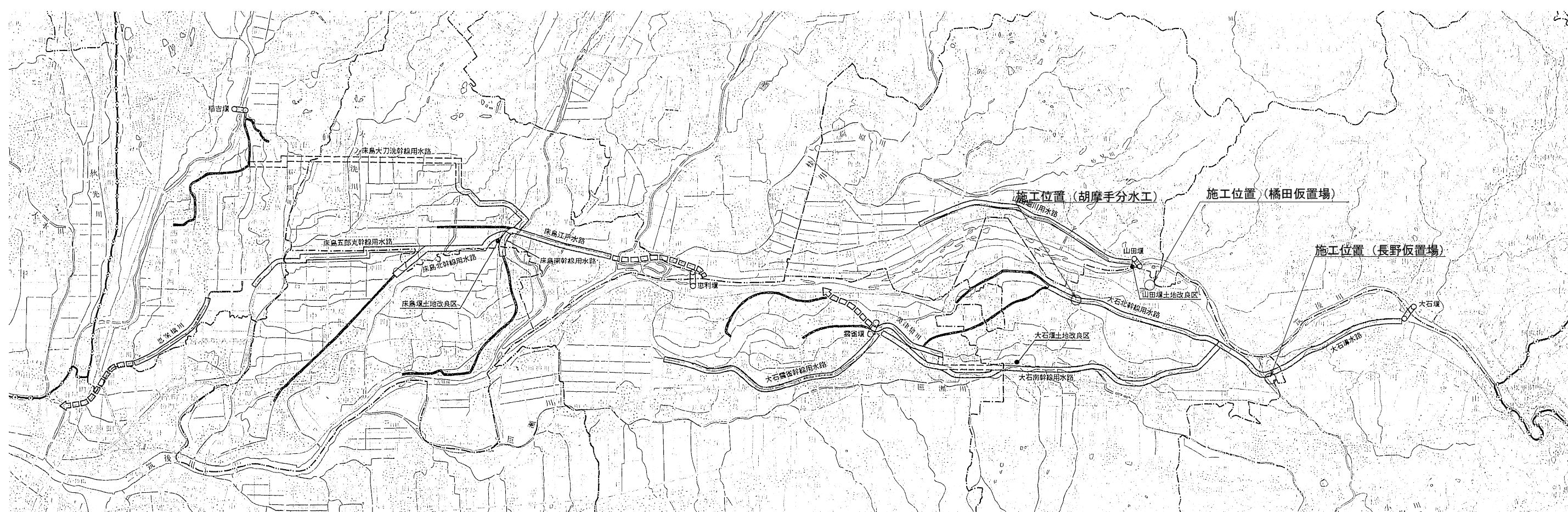
令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業
幹線用水路他整備工事

契約図面

[illegible]

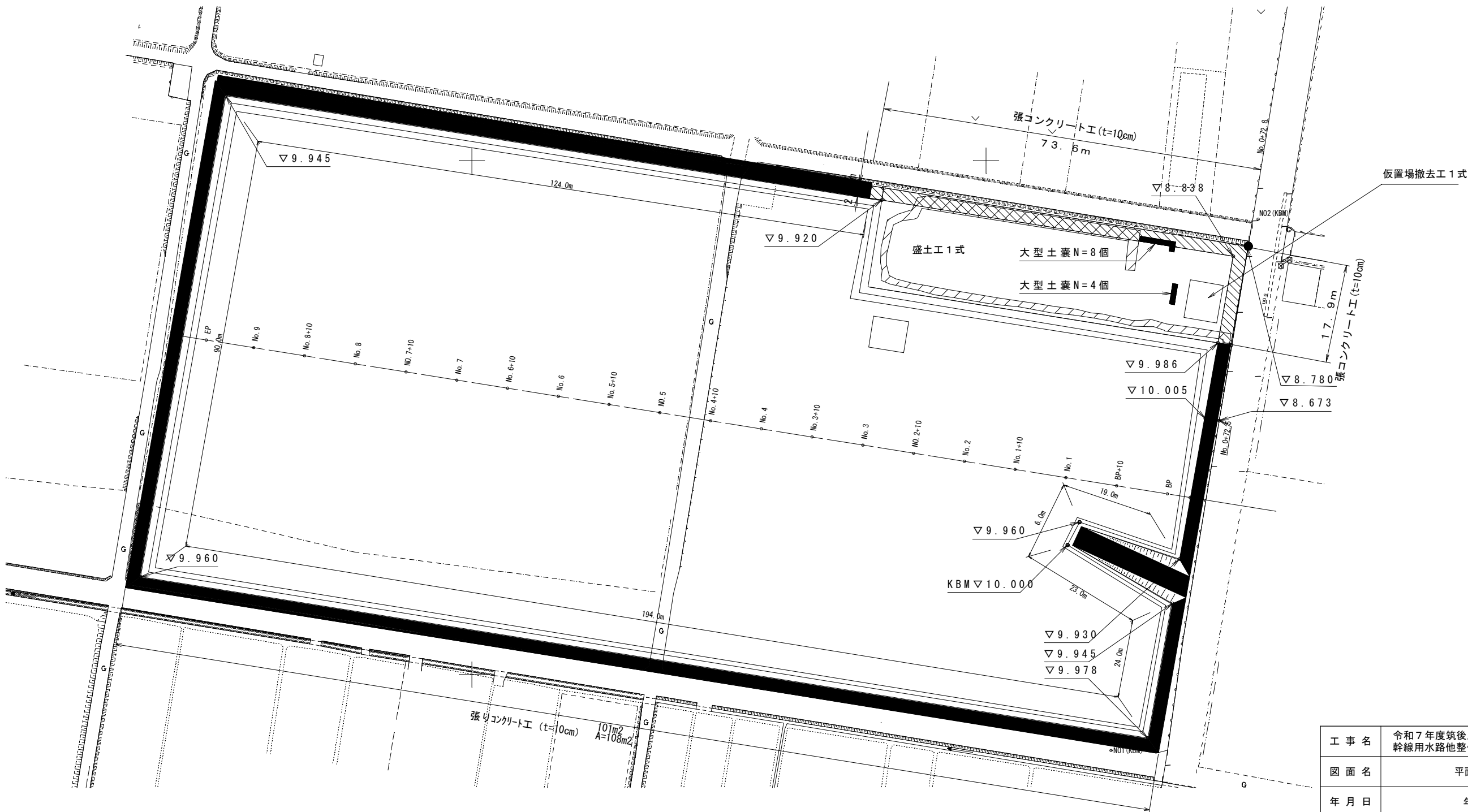


位置図



工事名	令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路他整備工事		
図面名	位置図		
年月日			
尺度	—	図面番号	1
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

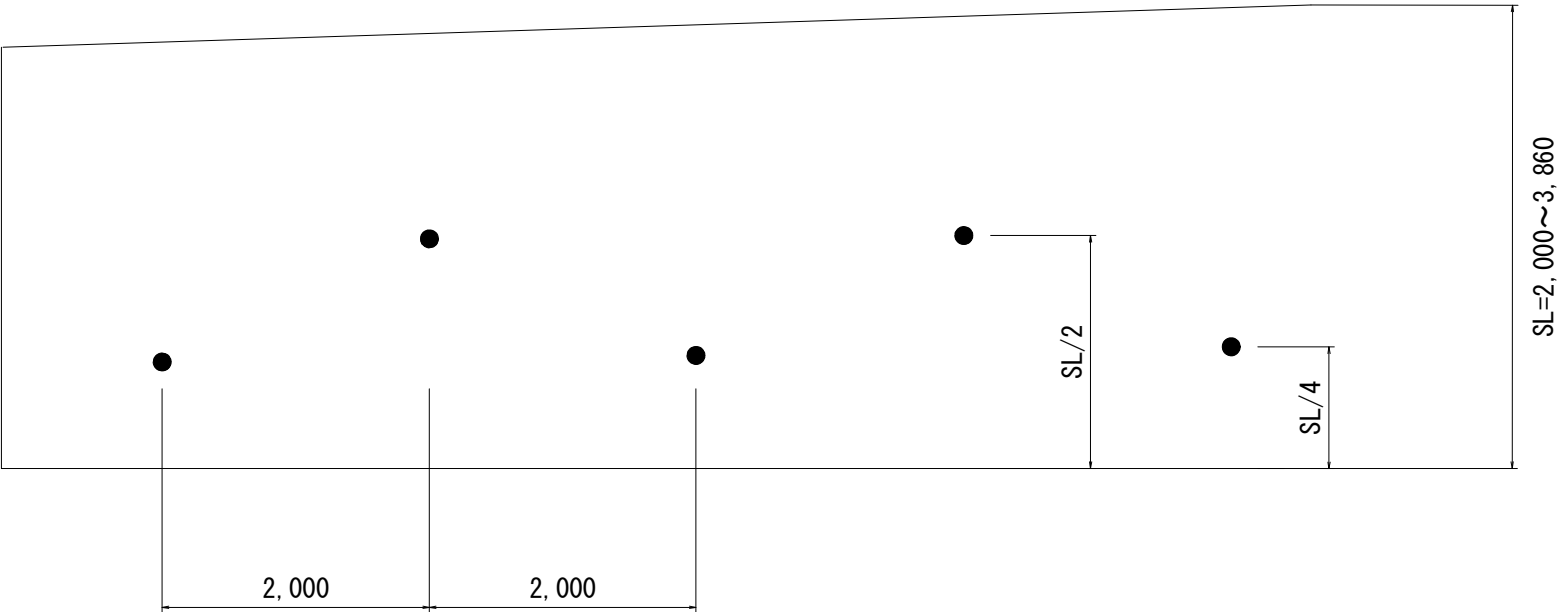
平面図(橘田仮置場)



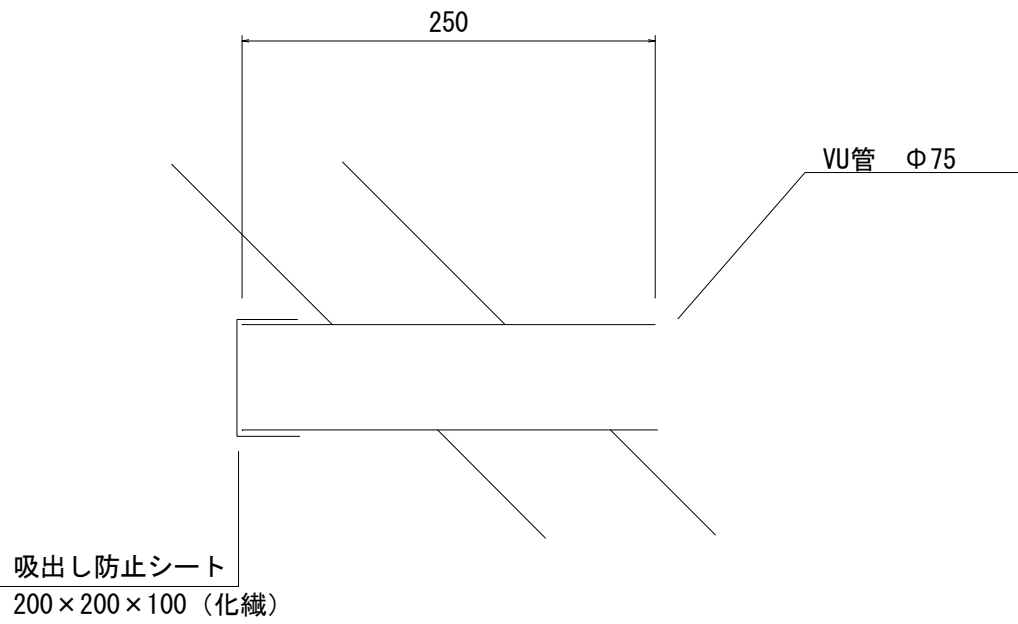
工 事 名	令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路他整備工事		
図 面 名	平面図(橘田仮置場)		
年 月 日	年 月 日		
縮 尺		図面番号	2
会 社 名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

排水工図（橘田仮置場）

水抜き穴 展開図

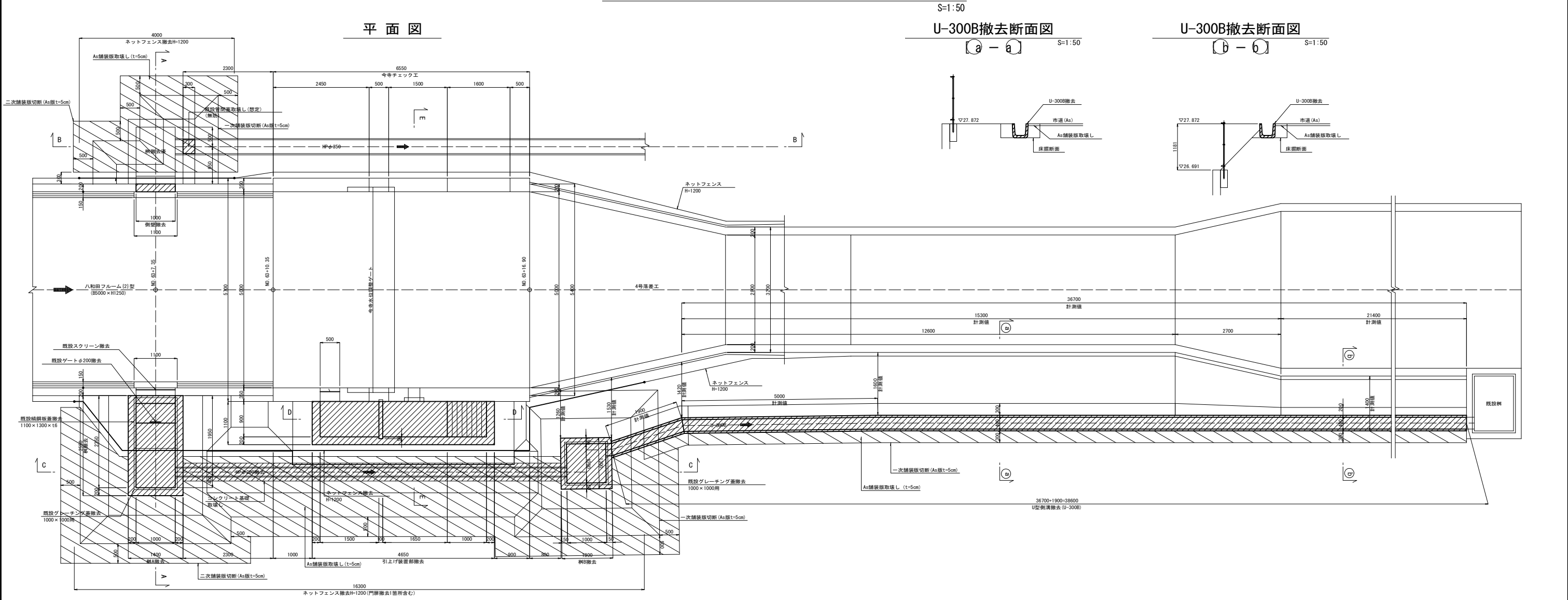


水抜き穴 構造図



工 事 名	令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路他整備工事		
図 面 名	排水工図（橘田仮置場）		
年 月 日	年 月 日		
縮 尺		図面番号	3
会 社 名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

胡摩手溝分水工撤去構造図(1/2)

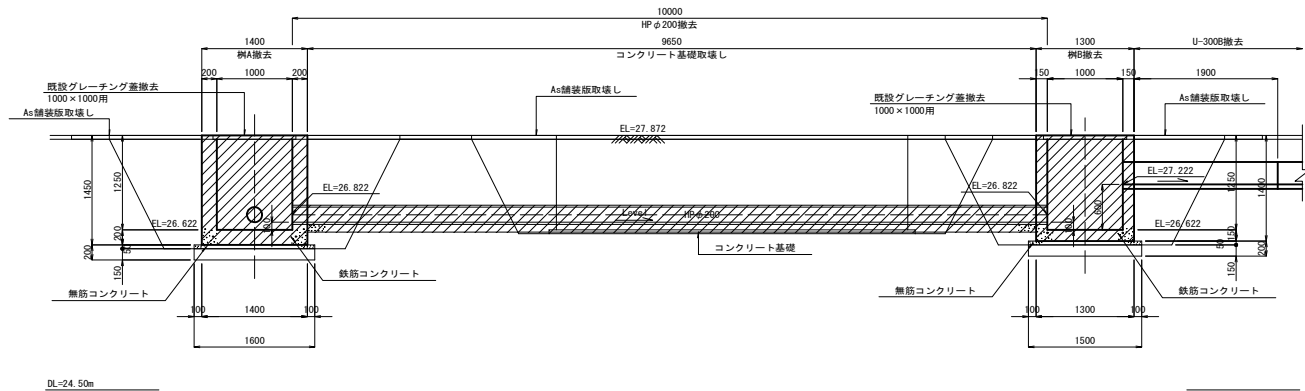


【特記事項】
1. 撤去する金物(スクリーン、グレーチング蓋、ネットフェンス等)は、仮置場へ搬出すること。

工 事 名	令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線水路他整備工事		
図 面 名	胡摩手溝分水工撤去構造図(1/2)		
年 月 日			
尺 度	1:50	図面番号	4-1/2
会 社 名			
事業者名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

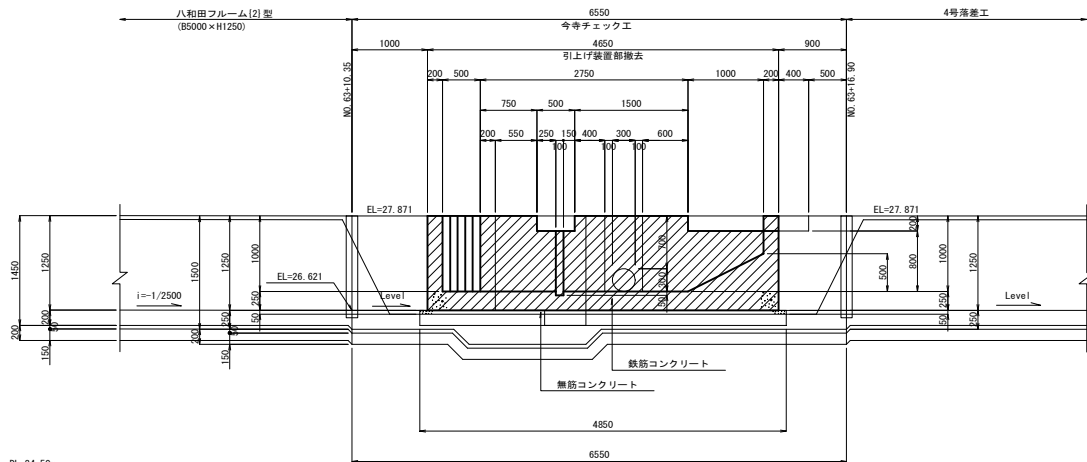
胡摩手溝分木工撤去構造図(2/2)

C-C断面図



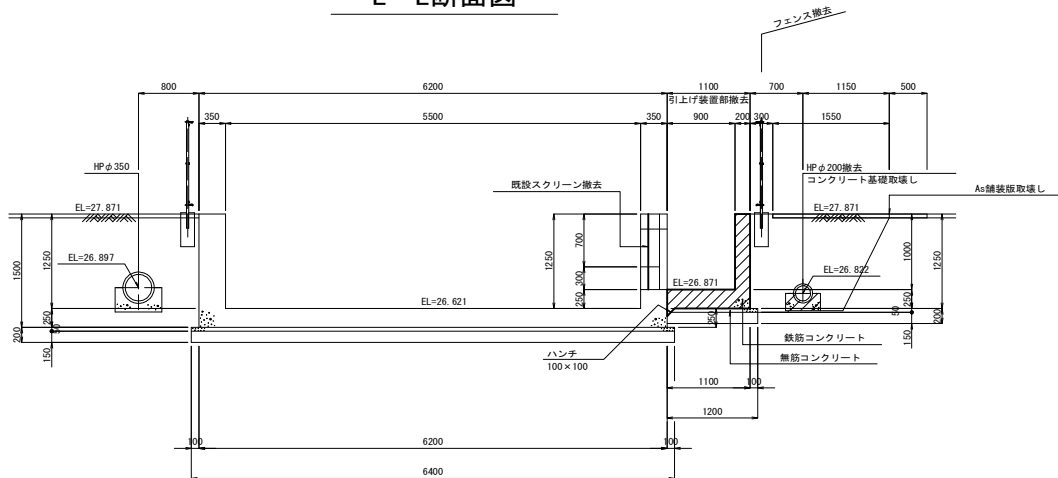
DL=24.50m

D-D断面図



DL=24.50m

E-E断面図



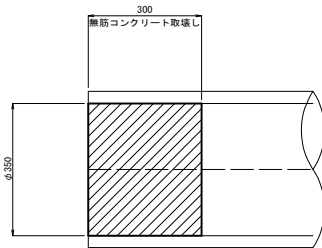
DL=24.50m

S=1:50

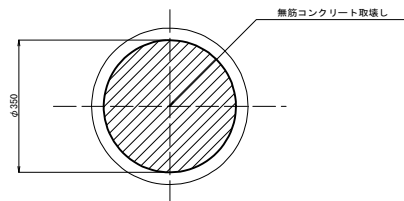
既設管閉塞取壊し

S=1:10

平面図

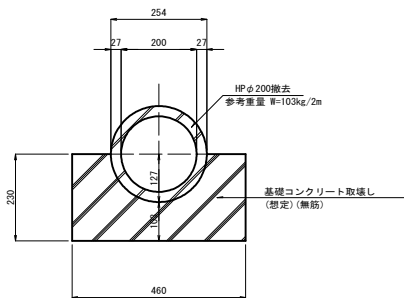


断面図



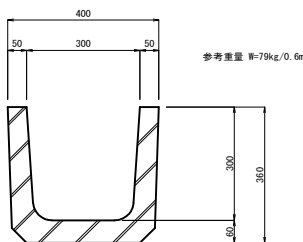
既設管HP φ 200撤去

S=1:10



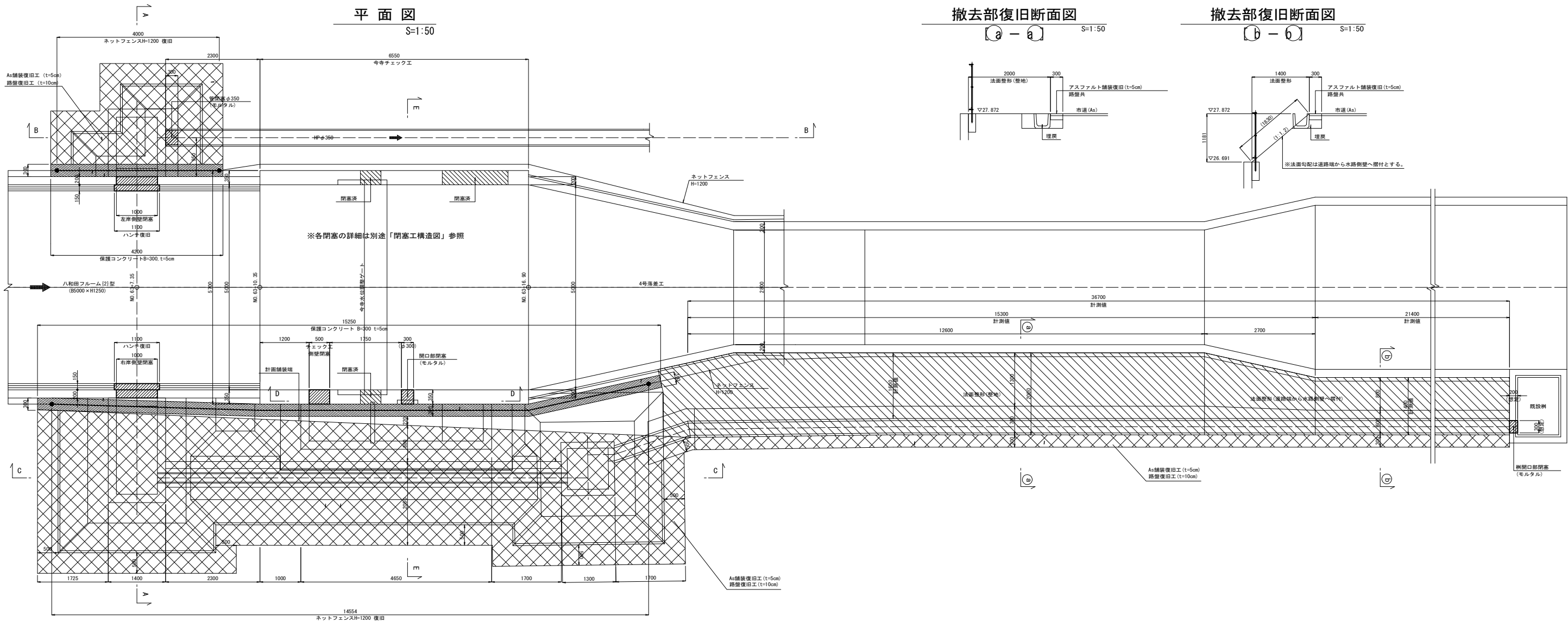
U-300B撤去

S=1:10



工 事 名	令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路他整備工事		
図 面 名	胡摩手溝分木工撤去構造図(2/2)		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	4-2/2
会 社 名			
事業者名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

胡摩手溝分水工復旧構造図(1/2)



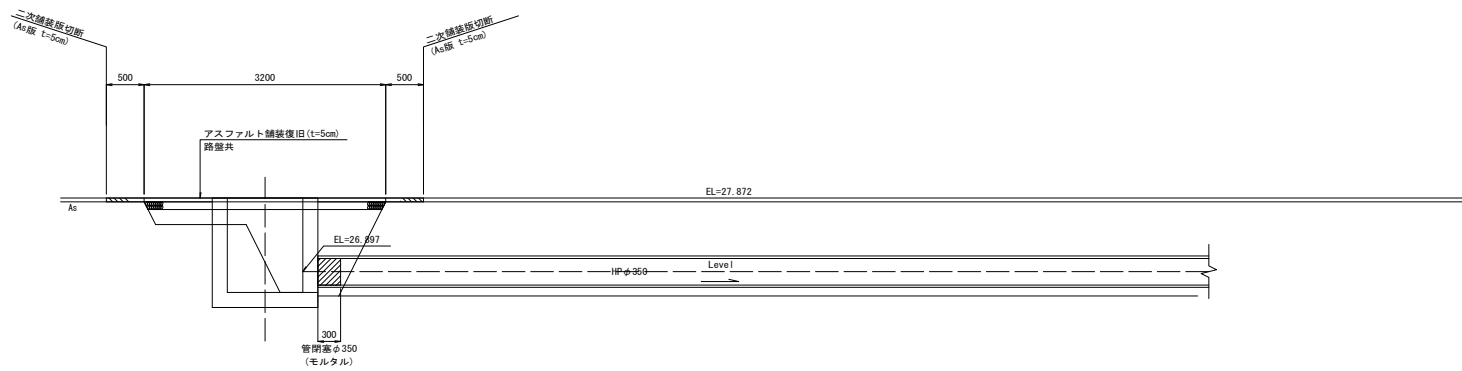
【特記事項】
1. 本図の表示道路高と現況の道路高に相違があるため、
各復旧にあたっては現況の道路高を優先し摺付ること。

工 事 名	令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路施設整備工事		
図 面 名	胡摩手溝分水工復旧構造図(1/2)		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	5-1/2
会 社 名			
事業者名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

胡摩手溝分水工復旧構造図(2/2)

B-B断面図

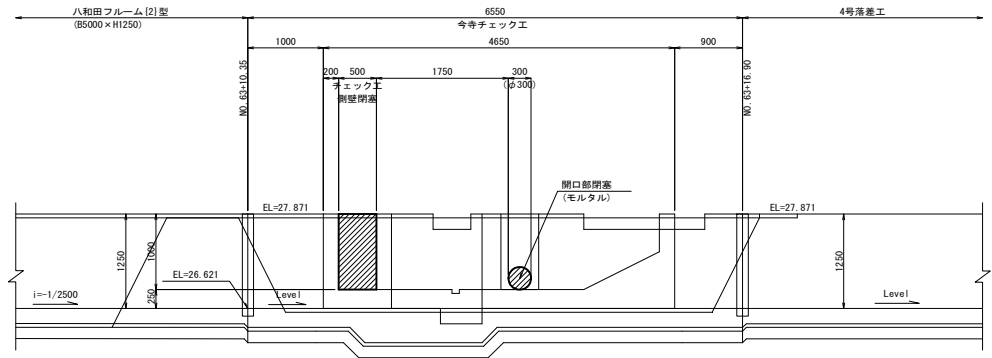
S=1:50



DL=24.50m

D-D断面図

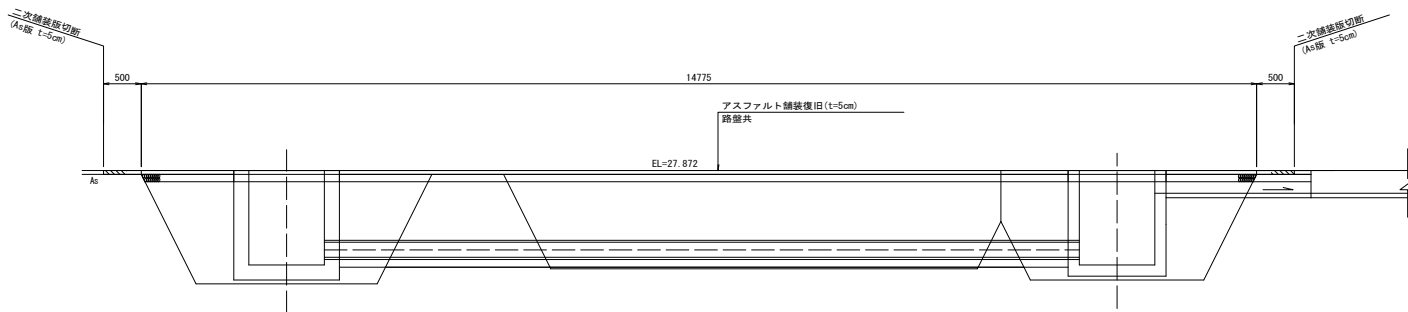
S=1:50



DL=24.50m

C-C断面図

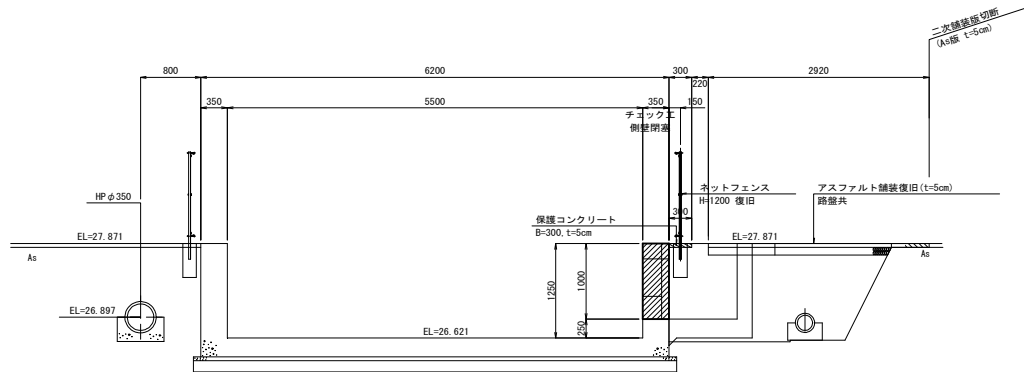
S=1:50



DL=24.50m

E-E断面図

S=1:50



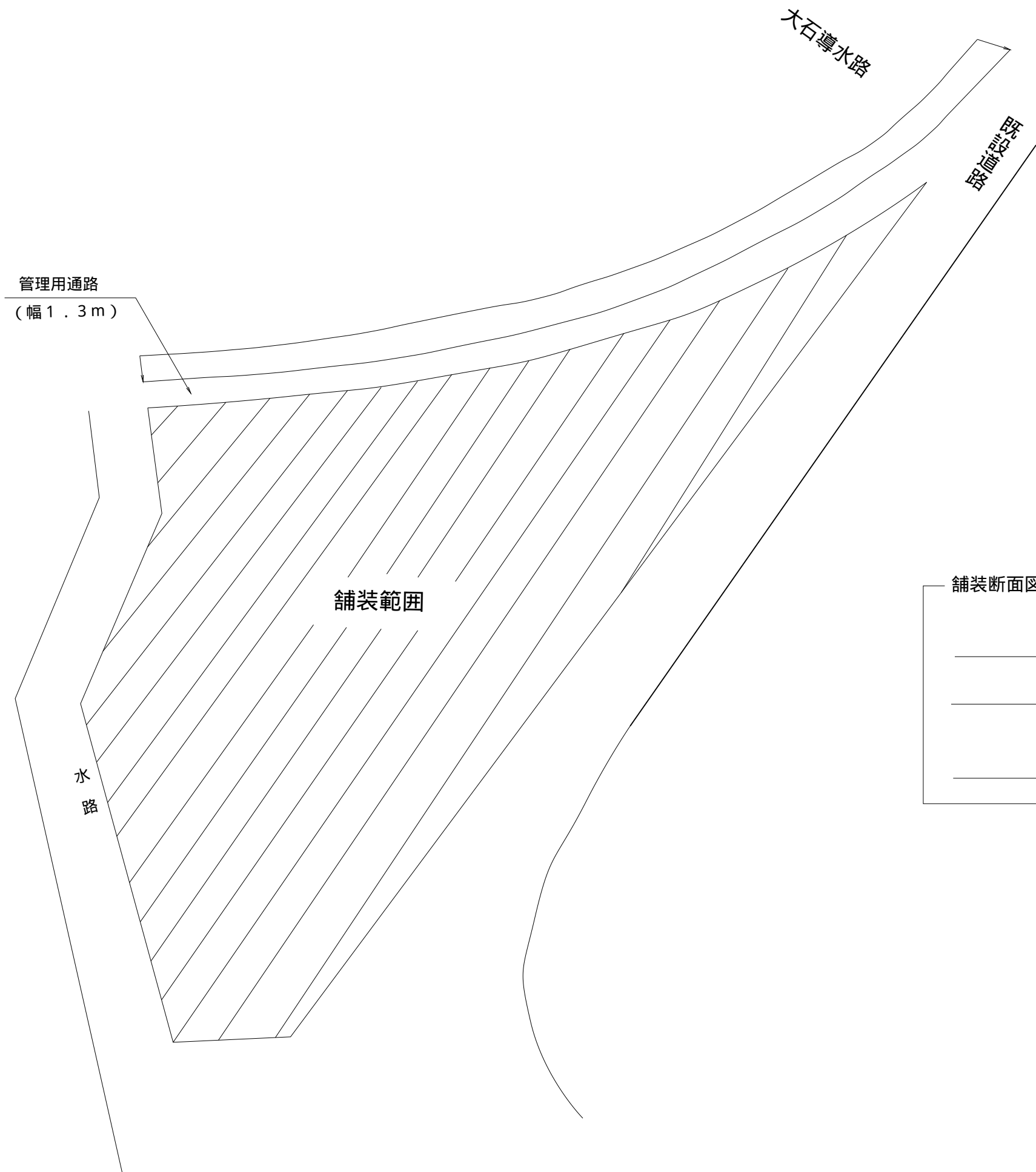
DL=24.50m

【特記事項】
1. 本図の表示道路高と現況の道路高に相違があるため、
各復旧にあたっては現況の道路高を優先し掲付ること。

工 事 名	令和7年度筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路他整備工事		
図 面 名	胡摩手溝分水工復旧構造図(2/2)		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	5-2/2
会 社 名			
事業者名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

平面図（長野仮置場）

1 : 5000



舗装断面図

C0	h = 10 c m
RC-40	h = 15 c m

工 事 名	令和7年度 筑後川中流国営施設機能保全事業 幹線用水路他整備工事		
図 面 名	平面図（長野仮置場）		
年 月 日	年 月 日		
縮 尺	1 : 5000	図面番号	5
会 社 名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		